

Roche Seminar Information



第90回 日本結核病学会総会

イブニングセミナー 1

演題名 **NTM症：罹患率増加の現状と今後の課題**

2015年は日本の非結核性抗酸菌 (NTM) 感染症にとってエポックメイキングの年になるかもしれない。それは、本学会で日本全国を対象とした疫学調査で結核とNTMの罹患率が以前より予測されている逆転の真偽が明らかとなるからだ (SY2-1) *。

NTMの中で最も頻度が高い *Mycobacterium avium* complex (MAC) 症について、我々は無治療経過観察群での菌側因子の解析を実施し (SY2-3) *、喀痰より *M. avium* が複数株検出されたポリクローナル感染では有意に経過観察時に増悪が認められ治療導入が行われた。今回の研究では *M. avium* と *M. intracellulare* の混合感染では有意差は認められなかったが、今後混合感染による増悪にも注意する必要がある。

現在 *M. avium* と *M. intracellulare* はさらに細かい subspecies の分類が報告され、これらのなかで患者さんの予後や治療効果が異なるものが存在する可能性があるため、将来的にはこれらの鑑別も必要となるかもしれない。

近年、罹患率が特に増加している *M. abscessus* には *M. massiliense* と *M. bolletii* という subspecies があるが、臨床的には患者さんの予後や治療効果が変わってしまう可能性があるため、*M. abscessus* と *M. massiliense* の鑑別が重要となってくる。しかし、市販キットでは鑑別が出来ないため注意が必要である。本セミナーでは以上の内容について自検例を交えて議論していきたい。

※第90回結核病学会総会より

座長 複十字病院 呼吸器内科 **倉島 篤行** 先生

演者 国立感染症研究所 感染制御部 **星野 仁彦** 先生

日時

2015年3月27日(金)
18:10~19:00

会場

長崎ブリックホール
2階リハーサル室 (会場:第3会場)
長崎県長崎市茂里町2番38号

共催

第90回 日本結核病学会総会
ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社



交通のご案内

[電車] JR線 浦上駅より徒歩5分
路面電車・バス 茂里町停留所より徒歩3分

整理券について

整理券の配布はございません。直接会場へお越し下さい。

Roche